

競技規則及び注意事項

(本大会は、公認野球規則、全軟連規則を適用します。但し次の規定を優先する)

1. ベンチは組み合わせ番号の若い順を一塁側とする。先攻・後攻は主将のジャンケンとする。
2. 試合は2回戦とし、90分を過ぎて新しいイニングに入らない事とする。(別紙参照)
3. 正式試合は5回完了時とする。予選リーグでは得点差によるコールドゲームはなし、時間優先とする。決勝トーナメント及び交流戦は5回7点差以上ついた場合はコールドゲームとする。降雨、日没、その他事情にて規定回数まで試合が進行していない場合、即ちノーゲーム(5回以前)になる時でも再試合にしないでサスペンデッドゲームとして行う。(その場合は7イニングスまで行う)
4. 延長戦は行わず、規定回数終了時または制限時間を過ぎて同点の場合は、タイゲームとして正式試合を打ち切り、特別方式を適用し試合を続行する。
※特別方式:継続打順とし、前回の最終打者を一塁走者として、一塁・三塁の走者は順次前の打者とする。すなわち一死満塁の状態にして試合を行う。特別方式は勝敗を決するまで継続する。
5. タイムの制限については、捕手又は内野手が1試合に投手の所に行ける回数を7イニングスの試合にあっては3度以内とする。特別方式になった場合は2イニングスに1度認める。
6. 用具については、打者、走者、次打者は両側にイヤーフラップの付いたヘルメットを着用し、捕手についてはプロテクター、レガード、ヘルメット、ファールカップを必ず着用すること。金属、ハイコンバットはJSBBマークの入ったものを使用のこと。
7. ファウルボールは飛んだ方向のチームが速やかに拾いに行き、バックネット前後は攻撃側チームが責任を持つ。
8. 抗議のできる者は、監督と当該プレーヤーとする。但し、ジャッジメントに関する抗議は一切受け付けない。
9. 試合中ベンチ入りできる大人は代表者(マネージャー)、監督、コーチ2名(登録者に限る)、スコアラー、引率責任者の計6名以内と10名以上20名以内の登録された選手とする。登録は男女を問わない。
10. 背番号については選手0~27(主将10)の20名以内と、監督30、コーチ29、28番(二人いる場合)とする。上記以外は認めない。なお、ユニフォーム着用の監督・コーチは3名以内とする。尚、監督・コーチはコーチャーズボックスに立てる。(ヘルメット着用)
11. 投手に対するアドバイス等は監督がマウンドに行っても良いが、その際はマウンドまで小走りで往復のこと。ファウルラインへ選手を呼び寄せることは厳禁とする。
12. 試合開始予定時刻30分前までに集合した選手のみ大会本部にメンバー表4枚を提出して検印を受ける。遅れて参加する選手は追加記載をし、大会本部で検印を受け審判員の了解を得る。試合開始予定時刻に集合しないチームは棄権扱いとする。
13. 監督が不在(緊急の用事等)の時はコーチを監督代行として認めるが、監督・コーチ3名ともに不在の時は棄権とする。
14. 対戦相手チーム、選手への個人的な又、審判員に対する品位のないヤジは認めない。注意にもかかわらず続けた場合は審判員の判断により、その当該者を試合から除外する事もできる。なお、応援側もチームの責任とする。
15. 球場によっては、グラウンド特別ルールが設けられている場合もあるので、審判員・大会本部で確認のこと。
16. 試合中、また球場への往復の事故について主催者側は一切責任を負わないので、ご注意のうえご参加ください。
17. バックネット裏での応援、鳴り物での応援は一切禁止とする。
18. 審判へのお茶出しは一切不要とする。
19. 救護要員として、保護者のベンチ入りを2名まで認める。服装はベンチ入りに相応しい服装とする。